

# 心をみつめる。

第二十七

北九州市内・近郊の寺院の僧侶にお言葉をいただくコーナーです。老後を心豊かに生きるためのヒントとなりますように……。

## 仏様のものさしをいただく

「1メートルはどのくらいの長さでしようか」と質問されたら、皆さんはどう答えるでしょうか。

たとえば数人に集まっていたとき、実際にそれぞれ自分の手で長さを表してもらおうとどうでしょう。皆それぞれ自分なりの「1メートル」を目の前に作ります。

そして次に、「今この中で本当に正しい1メートルは誰かを一人だけ決めて下さい」と言えばどうなるでしょう。おそらくお互いに自分なりの「1メートル」を比べながら、「あなたの長すぎる、私の方がピッタリだね」「いやいや、あなたは短すぎる、私の方こそ正しいに決まっている」という具合に言い争うことになるのではないのでしょうか。

しかしここでお互いが「自分こそ正しい」と主張し合っても、決して答え



は出ません。なぜなら正しいかどうかの基準は全て、それぞれの「私」という自分中心の考え方ですから「私が正しい、相手が間違っている」と、人間の数だけ規程があることになってしまふのです。

ではここに、本物の1メートルのものさしを持ってくればどうなるでしょうか。私たちは、自分の基準と本物のものさしとを照らし合わせ、「私のはこんなに長かったのか」「私のは短すぎたんだ」と、自分の感覚と本物とのズレが見えてくるのではないのでしょうか。つまり私たちは本物・真実に出会うことではじめて自身の愚かさ・間違いに気づかされるのです。

私の中の常識や価値観の基準は、その時の自分の都合によってコロコロと変化する不安定なものです。その瞬間



浄土真宗本願寺派 住職  
鷹取 直道 さん

ごとに目盛りが変わってしまうような自分勝手なものさし、それが「私のものさし」です。私たちは無意識に自分が正しいと思い込み、この「私のものさし」でもって都合よく相手を計りながら、これに合わないものは間違いだと考えてしまふのです。

そこに、お念仏の教えという本物の「仏様のものさし」を知らされることで、私たちがどれだけ真実からかけ離れたすがたであるかを、はじめて気づかされるのです。

仏様のものさしを通して見えてくる私は、欲に振り回され、自分こそ正しいという自分勝手な考えでしか生きることの出来ない、決して自分では仏に成ることなど出来ないすがたなのです。

浄土真宗は仏様のものさし、つまり真実である阿弥陀様のお念仏を通して私のものさしが問われていく教です。だからと言って、阿弥陀様はこ



浄土真宗本願寺派  
普照山 明元寺  
直方市永満寺 1987  
(0949)-24-9937

の仏のものさしに合わせられない者を救わないとおっしゃるのではありません。

自分勝手な私に気づかされながらも、自分のものさしを捨てきれないのが私のすがたです。しかし同時に、そのようにしか生きられない私を全てお見通しで、だからこそ救わずにはおれないと願われ、「お念仏申してくれ。必ず仏とならせるぞ」と、私に今はたつき続けて下さる阿弥陀様のお慈悲をよろこばせて頂くのです。

お念仏申す中に自分のすがたを気づかされながら、同時に決して捨てることがないと届いて下さる阿弥陀様の温かなお心を、味わって頂きたいと思えます。